

新潟県空手道連盟創立 60 周年記念
 第 60 回新潟県空手道選手権大会
 兼 第 54 回全日本空手道選手権大会新潟県予選会、
 並びに第 21 回北信越小中学生空手道選手権大会新潟県予選会、
 第 21 回全国中学生空手道選抜大会新潟県予選会 開催要項

- 1 主 催 新潟県空手道連盟
- 2 協 賛 公益財団法人 全日本空手道連盟
- 3 主 管 上越市空手道連盟
- 4 後 援 新潟県教育委員会 公益財団法人新潟県スポーツ協会 上越市
 (予定) 上越市教育委員会 一般財団法人上越市スポーツ協会
- 5 期 日 令和 8 年 9 月 22 日 (火・祝) ～ 9 月 23 日 (水・祝)

【第 1 日目】(9 月 22 日) 実施種目：中学生・少年・一般種目

8 : 30 ～ 9 : 30	会場設営
9 : 30 ～ 10 : 00	選手受付
9 : 30 ～ 9 : 45	審判会議
9 : 45 ～ 10 : 00	監督会議
10 : 00 ～ 10 : 15	コート補助員打合せ
10 : 15 ～ 10 : 30	開始式 (功労者表彰式含む)
10 : 30 ～	競技開始
17 : 00	閉式

【第 2 日目】(9 月 23 日) 実施種目：小学生種目

7 : 30	開場
7 : 30 ～ 8 : 00	選手受付
8 : 00 ～ 8 : 20	審判会議
8 : 20 ～ 8 : 35	監督会議
8 : 35 ～ 8 : 50	コート補助員打合せ
8 : 50 ～ 9 : 00	開始式
9 : 00 ～	競技開始
17 : 00	閉式

- 6 会 場 謙信公武道館 (新潟県立武道館)
 上越市大字戸野目古新田 375 番地 TEL (025) 520 - 8897

(1) 入館は、役員・審判員は1階から、監督・選手・保護者は2階からとする。

(2) 団体受付（監督証・大会プログラムの配布）は1階玄関ホールで行う。

※第1日目（9月22日）の午前8時30分から会場設営を行うので、選手・監督・役員・審判はご協力をお願いします。

7 競技種目

【第1日目】（9月22日）

一般 団体戦	(1) 一般団体戦組手（成年男子3級以上）	
一般 個人戦	(2) 一般男子形	(3) 一般女子形
	(4) 一般男子無段者組手	(5) 一般女子無段者組手
	(6) 男子組手（全日本予選）	(7) 女子組手（全日本予選）
少年 個人戦	(8) 少年男子形	(9) 少年女子形
	(10) 少年男子組手	(11) 少年女子組手
中学生 個人戦	(12) 中学生1年男子形	(14) 中学生1年女子形
	(13) 中学生2年男子形	(15) 中学生2年女子形
	(16) 中学生1年男子組手	(18) 中学生1年女子組手
	(17) 中学生2年男子組手	(19) 中学生2年女子組手

【第2日目】（9月23日）

小学生 個人戦	(20) 小学生1年男子形	(26) 小学生1年女子形
	(21) 小学生2年男子形	(27) 小学生2年女子形
	(22) 小学生3年男子形	(28) 小学生3年女子形
	(23) 小学生4年男子形	(29) 小学生4年女子形
	(24) 小学生5年男子形	(30) 小学生5年女子形
	(25) 小学生6年男子形	(31) 小学生6年女子形
	(32) 小学生1年男子組手	(38) 小学生1年女子組手
	(33) 小学生2年男子組手	(39) 小学生2年女子組手
	(34) 小学生3年男子組手	(40) 小学生3年女子組手
	(35) 小学生4年男子組手	(41) 小学生4年女子組手
	(36) 小学生5年男子組手	(42) 小学生5年女子組手
	(37) 小学生6年男子組手	(43) 小学生6年女子組手
小学生 団体戦	(44) 小学生男子団体形	(45) 小学生女子団体形

なお、一般・少年の組手競技は無差別とし、体重制限はない。

また、上部大会予選会を兼ねていない個人戦種目（一般男女形、一般男女無断者組手、少年

男女形・組手)の参加者が2名以下の場合は競技を中止する。(参加費は返金する。)

8 出場資格

- (1) 出場選手及び監督は、新潟県空手道連盟加盟団体に所属し、新潟県空手道連盟個人会員登録及び全日本空手道連盟個人会員登録済みであること。
- (2) 競技種目で(6)男子組手及び(7)女子組手に出場できるものは全空連段位取得者であること。
(少年段位は不可)

9 審判員

- (1) 審判員は(公財)全日本空手道連盟全国公認審判員及び地区公認審判員並びに新潟県空手道連盟公認審判員により編成する。
- (2) 出場選手の所属団体は、大会1日目・2日目ともに審判員と競技補助員をそれぞれ1名以上帯同すること。審判員を2名以上帯同する場合は競技補助員を帯同しなくてもよい。審判員を帯同できない場合は競技補助員を2名以上帯同すること。(審判員、競技補助員の帯同は合わせて2名以上とする。)なお、出場選手が5名までの場合はその限りではない。
- (3) 審判員の年齢は65歳未満とする。但し、審判員の参加状況により委嘱される場合もある。また、審判員登録していながら当日審判をしない者が見受けられるので厳に慎むこと。
※大会では審判員が不足するため、審判員有資格者はなるべく審判員として参加をお願いします。また、競技補助員は競技規定を熟知している団体の指導者等をお願いします。

10 競技規定

- (1) 競技は、(公財)全日本空手道連盟競技規定(以下、競技規定)及び新潟県空手道連盟申し合わせ事項により実施する。
- (2) 形競技

1) 一般・少年・中学生 個人形

- ① 競技は2名同時演武の旗判定によるトーナメント方式とする。
但し、準決勝・メダルマッチは1名ずつ演武する。
- ② 個人形で演武できる形は次のとおりとする。
 - ア. 1回戦からベスト8選出までは全空連第1指定形とし、同じ形を繰り返し演武することができる。
 - イ. 準々決勝からは第2指定形とし、同じ形を繰り返し演武することができる。
 - ウ. メダルマッチはそれまでに演武していない競技形(指定形を含む)とする。
- ③ 出場人数が3名以下の場合は、総当り戦とする。使用できる形は全空連第1・第2指定形とし、繰り返し演武することはできない。
なお、勝利ポイントが同点の場合は、1直接対決の勝者、2全審判員による全試合の最多得票、3使用していない競技形(指定形含む)による再試合で順位を決定する。
- ④ 第1・第2指定形及び競技形は、競技規定の「付録4：指定形リスト」並びに「付録5：競技形リスト」から選択しなければならない。

2) 小学生 個人形・団体形

- ① 競技は、個人戦は2名同時演武、団体戦は1チームずつ演武の旗判定によるトーナメント方式とする。
- ② 演武できる形は次のとおりとする。
 - ア. 1回戦からベスト4選出までは基本形（ゲキサイ第1・第2、平安またはピンアン初段～5段）とし、同じ形を繰り返し演武することができる。
 - イ. 準決勝からはいままで演武していない基本型、もしくは全空連第1・第2指定形とし、同じ形を繰り返し演武することができる。
- ③ 出場人数が3名（団体戦は3チーム）以下の場合は、総当たり戦とする。使用できる形は、基本形、及び全空連第1・第2指定形とし、繰り返し演武することはできない。

なお、勝利ポイントが同点の場合は、1直接対決の勝者、2全審判員による全試合の最多得票、3使用していない基本形及び指定形による再試合で順位を決定する。

（3）組手競技

- ① 競技は競技規定によるトーナメント方式とする。
- ② 個人戦の出場人数が4名以下の場合は総当たり戦で順位を決定する。

なお、勝利ポイントが同点の場合は、1直接対決の勝者、2全試合の獲得ポイントの合計数、3全試合の失点ポイント合計数、4全試合の一本獲得数、5全試合の一本失点数、6全試合の技あり獲得数、7全試合の技あり失点数、8再試合で順位を決定する。
- ③ 少年及び中学生の競技はジュニア・カデットルール（競技規定第8条〔禁止行為〕）を採用する。また、小学生の競技は12歳未満の組手競技規定を採用する。
- ④ 競技時間は次のとおりとする。

一般団体戦組手、 一般男子・女子無段者組手、 男子組手・女子組手（全日本予選）	3分
少年男子・女子組手	2分
中学生男子・女子組手 小学生3～6年男子・女子組手	1分30秒
小学生1～2年男子・女子組手	1分

- ⑤ 個人戦の勝敗は、8ポイント差（小・中学生は6ポイント差）が生じた場合、または競技終了時に得点の多い選手、同点の場合は先取した選手、先取が無い場合はより多くのビックポイント（1本・技有ありの取得数）を取得した選手を勝ちとする。同点で先取も無くビックポイントも同じ、または無得点の場合は審判員5名による旗判定で勝者を決定する。
- ⑥ 団体戦で、同点で先取が無い、または無得点の場合は引き分けとする。
 - ア. 勝利者数の多いチーム（先取含む）の勝利となる。勝利者が2チームとも同数の場合、勝ち競技及び負け競技を考慮し、最も得点の多いチームを勝ちとする。得点の差は最大10ポイントとする。
 - イ. 2チームの勝利者数及び得点が同点の場合、勝者決定戦を行う。（各チームからそれぞれ1名（既に戦った選手の中から）を指名し、新たに競技を行なう。）それでも得点の優

劣及び先取、ビックポイントによる差がなかった場合は個人戦と同様に旗判定により勝者を決定する。

ウ. チームの勝利者数またはポイント数が十分である場合、競技終了となる。

⑦ 安全具は種目別に次表の○印のものを使用すること。

組手競技種目	ニューメンホー	赤・青拳サポーター	ボディプロテクター	セーフティカップ	シンガード・インステップガード
一般団体戦組手	○	○	○	○	○ (全空連・WKF・高体連・学連検定)
一般男子無段者組手	○	○	○	○	
一般女子無段者組手	○	○	○	—	
男子組手 (全日本予選)	—	○ 厚手タイプ	○	○	
女子組手 (全日本予選)	—	○ 厚手タイプ	○	—	
少年男子組手	○	○	○	○	○ (全空連・WKF・高体連・学連検定)
少年女子組手	○	○	○	—	
中学生男子組手	○	○	○	○	○ 白色のみ (全空連・高体連検定)
中学生女子組手	○	○	○	—	
小学生男子組手	○	○ リバーシブル	○	○	○ 白色のみ (全空連検定)
小学生女子組手	○	○ リバーシブル	○	—	

なお、一般種目は国スポ要項に、少年種目は高校総体要項に、中学生種目は全中選抜要項に、小学生は全少大会要項に準じた安全具とする。

ア. ニューメンホー (Ⅵ、Ⅶ) は全空連検定品。

イ. 赤・青拳サポーター (小学生は赤・青リバーシブル拳サポーター) は全空連検定品。

ウ. ボディプロテクターは全空連検定品。

エ. セーフティカップ (女子は除く。小学1・2年生は所属指導者の判断に委ねる。) は全空連検定品。

オ. シンガード・インステップガードは全空連検定品、WKF 検定品、高体連検定品、学連検定品。なお、中学生は白色のもので全空連検定品 (小学生用) とするが、高体連用のインステップガード新製品 (全空連マークと高体連マークの両方が入っている 2022 年新製品) は使用可とする。小学生は全空連検定品 (小学生用) とする。

カ. 全日本選手権大会出場の男子組手・女子組手の選手は競技規定に定められたWKF 検定のボディプロテクター、チェストガード、シンガード・インステップガードを使用しなければならない。

キ. 第 54 回全日本空手道選手権大会新潟県予選会の男女組手種目はメンホー無し (素面) で実施する。また、使用する拳サポーターは「国際基準の厚手タイプ (新型)」とする。

(別紙全空連通知「組手競技における拳サポーターの使用基準について」参照)
 ク、マウスピースを使用する場合は透明もしくは無色のものとする。短く改造して競技中に口腔より容易に脱落するようなものは使用不可とする。

11 監督

(1) 監督の人数は次のとおりとする。

第1日目(中学生・少年・一般種目)	監督は1名
第2日目(小学生種目)	出場選手が5名までは、監督は1名
	出場選手が6名以上は、監督は2名まで

なお、監督の年齢は満18歳以上(高校生を除く)とする。

(2) 監督は、受付時に貸与する監督証(IDカード)を常時携帯すること。監督証を携帯しない者は競技場へ入場できない。

また、監督証は大会日毎に貸与・回収するため、大会本部に必ず返却すること。

(3) 監督は出場申込時に監督登録を行うこととし、大会当日の変更は認めない。なお、当日変更した監督はその場で退場させる。

(4) 監督は、競技中の選手以外は競技場内に入れないこと。競技の終了した選手は速やかに退場させること。

(5) 競技場内へのカメラ、ビデオカメラ等の搬入を禁止する。ただし、報道関係者は主催者の許可を取ることでこれを認めることとする。

12 出場人数

(1) 個人戦の出場人数は、制限なしとする。

① 少年種目の申し込みについては県連登録した団体からの出場となる。高校登録か団体登録のいずれかであり重複してはならない。

(2) 一般団体戦組手競技は1団体2チーム以内とする。

① 団体戦の1チームは3名編成(登録選手5名以内)とする。なお、選手2名での登録を認めるが、この場合の団体からの登録は当該チームのみとする。

他団体との混合チーム及び少年、女子との混合チームは認めない。

② 団体戦においては登録選手内での交代は自由とするが、対戦時のオーダー表提出後の変更は認めない。

③ 団体戦の監督は補欠を含む選手以外の人を務めること。

(3) 小学生団体形競技は1団体につき男子1チーム、女子1チームとする。

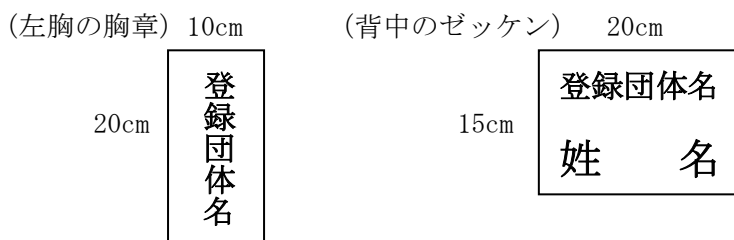
① チーム編成は選手3名、補員2名までとし、4・5・6年生混合または単独学年とする。

13 服装

(1) 出場選手は、競技規定第2条「規定の服装」に規定された白の空手道衣を着用し、左胸に登録団体名を記入した胸章(縦20cm×横10cmの白地)を付けること。なお、胸章以外に道着の裾にネームが入っていても構わない。(国際大会では禁止) また、道衣に県連登録団体名

以外の流派・会派・道場名等のゼッケン、マークの使用はできない。

小・中学生は胸章の他に背中 of ゼッケン（団体名と姓名を記入した縦 15 cm×横 20 cm の白地）を付けること。



- (2) 組手競技・形競技ともに、眼鏡・コンタクトレンズ（ハード）の着用を禁止する。
- (3) 赤帯・青帯は各自で全空連検定の帯を用意して着用すること。主催者では用意しない。なお、帯にネームが入っていても構わない。（国際大会では禁止）
- (4) 負傷によるテーピングの使用は大会医師の診断に従い、主審の許可を受けなければならない。（競技規定第2条〔規定の服装〕）ただし、初戦においては国スポに準じてテーピングの使用は認めない。足裏の表皮はがれ等軽微なものは適切な処置を施しておくこと。
- (5) 監督の服装は次のとおりとする。
- ① ダークスーツまたはジャケット・ブレザー、白ワイシャツ、ネクタイ（全空連指定の紺または青色）、スラックス（黒・紺・グレー系）、室内シューズ（派手な色合いやサンダルは禁止）とし、全空連エンブレムは不可とする。
- なお、女性はスラックス又はスカートでもよく、ネクタイを着用しなくてもよい。
- ※全空連エンブレム、ネクタイについては、審判員と同じ服装を避けるため。
- ② 監督用全空連公式ポロシャツ（臙脂色：ワインレッド）は可とする。なお、同系色のポロシャツ（ワンポイント可）を着用することもできる。スラックス・シューズについては上記のとおりとする。
- ③ 白の空手着でも可とし、室内シューズは無くてもよい。ただし、県連登録団体名以外の流派・会派・道場名等のゼッケン、マークの使用はできない。
- (6) 監督は、コーチボックス内ではバッグ・ウエストポーチ・リュック類は身に着けず、携帯電話・インカム等デジタル類は禁止とする。

※ルールブック参照

14 表 彰 各種目 4 位までを表彰する。（優勝、準優勝、第 3 位、第 4 位…各 1 名）

15 選手選考

《一般・少年》

- (1) 本大会は、**第 54 回全日本空手道選手権大会**（12 月 12・13 日）の個人戦の予選を兼ねる。
- 男子組手及び女子組手競技に優勝した選手は、新潟県空手道連盟理事会で審議のうえ、新潟県代表に決定する。
- また、全日本選手権団体戦出場選手の選考にあたっては、2026 年度新潟県空手道連盟国民スポーツ大会選手等選考規定により決定する。
- (2) 全日本選手権の出場資格と所属関係の証明書については次のとおりである。

***第53回全日本空手道選手権大会実施要項（R7年度）抜粋**

【出場資格】

- (1) 選手及び監督は、（公財）全日本空手道連盟会員であり、「JKF 会員マイページ」に登録していること。マイページが未登録では出場申込（web 申請）が出来ません。

【18歳未満競技者親権者 同意書】を記載して持参すること。

- (2) 選手及び監督は、全空連の加盟団体に所属し、次のいずれかに該当する者であること。
- ア. 日本国籍を有する者
 - イ. 日本国籍を有しない者は、日本永住許可の記入がある外国人登録済証明書、又は3年以上日本に滞在していることを示す官公庁発行の証明書を提示できる者
- (3) 選手及び監督は、次に掲げる ア. 都道府県連盟、イ. 競技団体、及びウ. 地区協議会からそれぞれ選出された者とする。
- ア. 所属都道府県連盟（①～④のいずれかによって所属していること）
 - ①居住地 ②勤務地 ③学校教育法第1条に規定する学校の所在地
 - ④卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地
 - イ. 競技団体
 - ①実業団 ②学生連盟 ③高体連
 - ウ. 地区協議会（但し、形競技のみ）
- (4) 選手は、令和7年度以内に満16歳の誕生日を迎え、全空連段位取得者であること。（少年段位は不可）
- (5) 選手は、健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。

《中学生》

- (1) **第21回北信越小中学生空手道選手権大会**（10月11日、新潟市鳥屋野総合体育館）の出場選手は、ベスト4入賞者より中学1年生は各種目上位4名、中学2・3年生は4名を選出する。また棄権等により欠員が生じても繰上げによる選出はしない。（形、組手の重複出場可。なお、後日公表される大会要項により出場者数に変更になった場合は、それに準じて上位より選出する。）

ただし、令和8年6月7日開催の全中県予選会「男女形・組手個人戦」において中学3年生が優勝した場合、北信越小中大会の中学生2・3年の同種目に出場権を得るとともに新潟県第1シードとする。これに伴い同種目の2年生の出場枠数は3枠となり、上位者から選出する。

全中県予選会で優勝した3年生は、8月31日（月）までに北信越小中大会への参加の有無を次のアドレスにメールで回答すること。期日までに連絡が無い場合は不参加とする。

※回答先：新潟県空手道連盟強化部ジュニア担当 木田義一

E-mail : mmng_kid@yahoo.co.jp

- (2) **第21回全国中学生空手道選抜大会**（令和9年2月26～28日、京都府内）の出場選手は、各種目ベスト4入賞選手（4名）とする。なお、棄権等により欠員が生じても繰上げによる選出はしない。（形、組手の重複出場可。ただし、後日公表される大会要項により出場者数に変更になった場合は、それに準じて上位入賞者より選出する）

《小学生》

第 21 回北信越小中学生空手道選手権大会（10 月 11 日、新潟市鳥屋野総合体育館）の小学生種目個人戦出場選手は、ベスト 4 入賞者から小学生は各種目上位 4 名を選出する。~~また、~~

16 出場参加費

（1）出場参加費は、出場種目毎に次のとおりとする。

（1）一般団体戦組手（成年男子 3 級以上）		1 チーム 9,000 円
一般個人戦	（2）一般男子形 （3）一般女子形 （4）一般男子無段者組手 （5）一般女子無段者組手 （6）男子組手 （7）女子組手	1 人 1 種目 6,000 円
	（2）と （4）または（6） 男子 （3）と （5）または（7） 女子	1 人 2 種目 12,000 円
少年個人戦	（8）少年男子形 （10）少年男子組手 （9）少年女子形 （11）少年女子組手	1 人 1 種目 3,000 円 1 人 2 種目 6,000 円
	（6）男子組手 と（8）少年男子形 （7）女子組手 と（9）少年女子形	1 人 2 種目 9,000 円
中学生個人戦	中学生男子、中学生女子 形・組手	1 人 1 種目 3,000 円 1 人 2 種目 6,000 円
小学生個人戦	小学生男子、小学生女子 形・組手	1 人 1 種目 3,000 円 1 人 2 種目 6,000 円
小学生団体戦	小学生男子団体形、小学生女子団体形	1 チーム 9,000 円

（2）出場参加費は下記の指定口座へ**団体名**で振り込むこと。（個人名での振込みでは振込み団体の確認できないため）

なお、自己都合による参加中止の返金はしない。振込み手数料は自己負担とする。

えちご中越農業協同組合 三条支店 普通 〇〇 4 6 7 1 2

にいがたけんからてどうれんめいたいかいとくべつかいけい じむきょく のみず ゆうじ
新潟県空手道連盟大会特別会計 事務局 野水 雄二

（3）送金後、必ず FAX またはメールで次の情報を伝えること。記録の残らない電話は不可。

- ① 団体名
- ② 振込者名
- ③ 大会名：第 60 回県大会
- ④ 振込日
- ⑤ 金額

17 提出書類 大会出場申込書（エクセルファイル）をメールに添付して送信すること。 FAX、郵送では受け付けない。

なお、男子組手・女子組手に出場する 18 歳未満競技者は、押印した親権者出場同意書を郵送で大会事務局に提出すること。

※大会出場申込書…(1)一般団体組手、(2)中学生・少年・一般個人戦、(3)小学生個人戦、
(4)小学生団体戦、(5)審判・監督・競技補助員名簿、(6)出場参加費納付書

18 提出期限 令和8年8月22日（土）必着。
 定められた資格条件でないもの、提出書類の不備、及び提出期限に遅れた場合は出場を認めない。

19 提出先 新潟県空手道連盟大会出場受付アドレス宛
 E-mail : taikai@jkf-niigata.net
 【問合せ先】 〒955-0032 新潟県三条市東大崎2丁目8番71-7号
 新潟県空手道連盟大会事務局 野水雄二
 TEL/FAX : (0256) 38 - 7055
 E-mail : taikai@jkf-niigata.net.

20 傷害処置
(1) 選手は各団体の責任の下でスポーツ傷害保険等に必ず加入のうえ出場すること。
(2) 選手が試合中に負傷した場合は、主催者において応急処置を行うが、不慮の事故については一切の責任を負わない。選手は必ず健康保険証を持参すること。

21 その他
(1) 抽選は、新潟県空手道連盟事業部会において行なう。
(2) 上位大会の予選を兼ねる種目に出場して上位大会の出場権を得た者は、特段の理由（突発的な病気、怪我等の事故等）による以外の出場辞退は認められない。
(3) 昨年度の本大会で優勝カップを授与された一般団体組手、男子組手、女子組手の選手は優勝カップを必ず持参して返却すること。